

# ライブコンテンツ プロデューサー

## 取扱説明書

### ソフトウェアバージョン 2.25 以降

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書および AWS-G500E の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書は、AWS-G500E 取扱説明書と組み合わせてご覧ください。

## ANYCAST STATION



## AWS-G500

# 安全上のご注意

## 警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

## 注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

使用済の電池は、説明書に従って処理してください。

## 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

## ネットワーク端子について

### ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

---

# 目次

安全上のご注意.....	2
はじめに .....	3
本機について.....	3
この取扱説明書の使いかたについて .....	3
標準構成のモジュールとは .....	3
各部の名称とはたらき .....	4
後面パネル .....	4
接続.....	4
仕様 .....	6

---

# はじめに

---

## 本機について

Anycast Station ライブコンテンツプロデューサー AWS-G500 は、ビデオスイッチングやカメラコントロール、インターネットライブ配信機能を備えた A/V 制作機器です。基本的な機能は AWS-G500E と同じですが、標準構成のモジュールで SD アナログや DV、RGB の入力映像を切り換えできます。

また、インターフェースモジュールを差し換えることで、AWS-G500HD と同様に HD 信号を取り扱うことが可能です。

---

## この取扱説明書の使いかたについて

この取扱説明書では、AWS-G500 として最低限必要な情報のみを説明しています。

本機をご使用になるためには、AWS-G500 取扱説明書（本書）と AWS-G500E 取扱説明書をあわせてご覧ください。

---

## 標準構成のモジュールとは

本機には、以下のインターフェースモジュールが標準で装備されています。

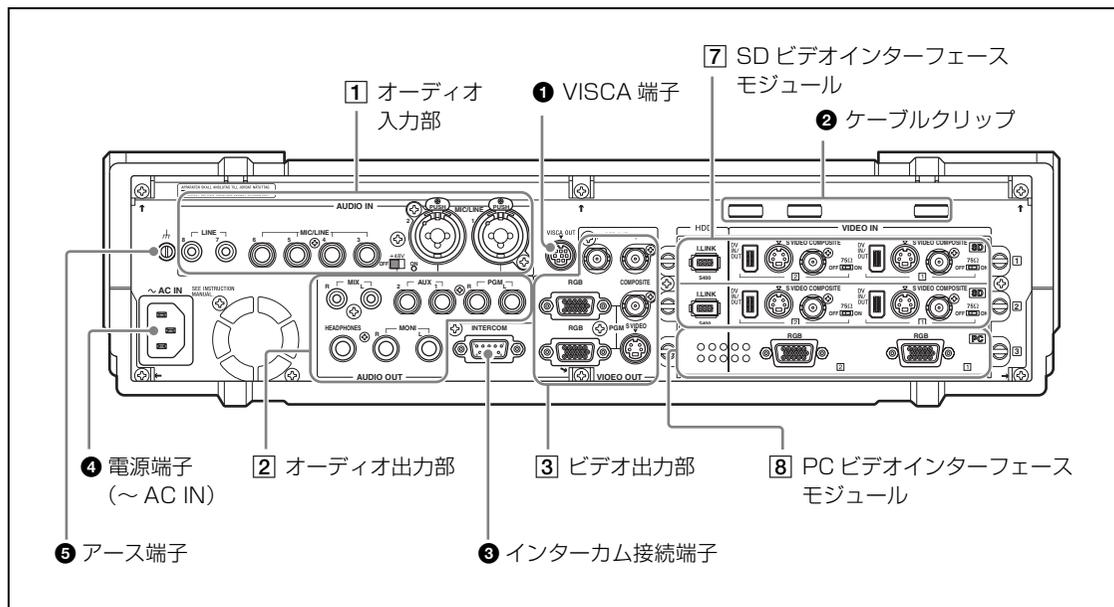
- SD ビデオインターフェースモジュール× 2
- PC ビデオインターフェースモジュール× 1

この取扱説明書では、これらのインターフェースモジュールのことを「標準構成のモジュール」と呼んでいます。

# 各部の名称とはたらき

AWS-G500E とは後面パネルのみ異なります。それ以外の情報については、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

## 後面パネル



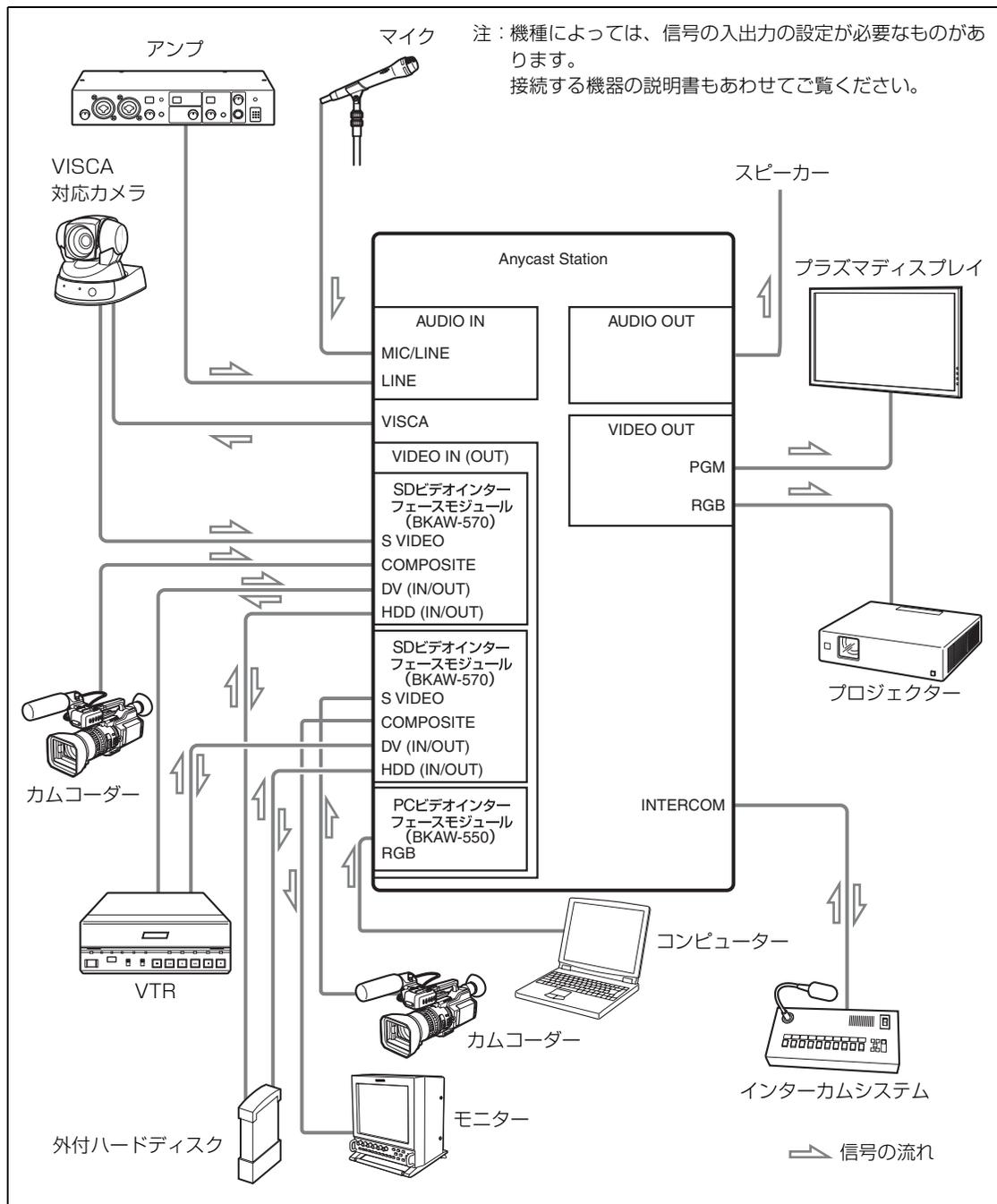
後面パネルの各部のはたらきについては、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

## 接続

次の図では、システム構成例と信号の流れを示します。接続のしかたについては、AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

また、各機器を接続した後、各入出力信号を本機で設定する必要があります。各入出力信号の設定については AWS-G500E 取扱説明書をご覧ください。

## 本機を標準構成のモジュールで使った場合の構成例



### で注意

- ケーブル類（特に規定のないRGB）は、できるだけ短いものを使用してください。一般に、機器間の接続で長いケーブルを使用するとノイズの影響が発生する場合がありますため、ケーブルは短いものが推奨されています。本機とその他の機器を接続するときにも、できるだけ短いケーブルを使用することをお勧めします。
- 各インターフェースモジュールの端子部分は、使用環境や使用方法によって高温になる場合がありますのでご注意ください。

# 仕様

## 一般

### 電源AC 10 一般

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	1.6 A - 0.8 A
動作温度	5 °C ~ 40 °C
外形寸法	424 × 114 × 339 mm (幅/高さ/奥行き、突起部 含まず)
質量	約 8.0 kg

## 映像信号

### ビデオ入力 (標準構成)

コンポジット	BNC × 4 VIDEO : 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負
S-VIDEO	DIN × 4 Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負 C (BURST) : 0.286 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (NTSC) C (BURST) : 0.3 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (PAL)
DV IN *	i.LINK : IEEE1394 (6 ピン) × 4 IEC 61883-2 準拠

\* DV IN/OUT コネクター

RGB	D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹) XGA (1,024 × 768 60 Hz、 70 Hz、75 Hz) SXGA (1,280 × 1,024 60 Hz、75 Hz) VESA (DMT) 準拠 WXGA (1,280 × 768 60 Hz)
-----	---

PC RGB 入力信号一覧						
フォーマット		fH	fV	ドット クロック	同期 極性	
		[kHz]	[Hz]	[MHz]	水平	垂直
1,024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	負	負
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	負	負
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	正	正
1,280 × 1,024	SXGA VESA 60 Hz	63.981	60.02	108	正	正
	SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	135	正	正
1,280 × 768	WXGA * 60 Hz	47.693	59.992	80.125	負	正

\* Macintosh からの入力には対応していません。

## ビデオ出力

コンポジット	BNC × 1 VIDEO : 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負
S-VIDEO	DIN × 1 Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負 C (BURST) : 0.286 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (NTSC) C (BURST) : 0.3 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (PAL)
DV OUT *	i.LINK : IEEE1394 (6 ピン) × 4 IEC 61883-2 準拠

\* DV IN/OUT コネクター

RGB (VIDEO OUT)	15k RGB (50 Hz/59.94 Hz) R: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) G: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) B: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) SYNC : 複合同期 TTL 出力
RGB	D-Sub Shrink (15 ピン) × 2 (凹) XGA (1,024 × 768 60 Hz、 75 Hz) SXGA (1,280 × 1,024 60 Hz) WXGA (1,280 × 768 60 Hz、75 Hz)

メニュー設定		信号 フォーマット	FH (kHz)	FV (Hz)	同期
RGB OUT *	PGM OUT **				
XGA 60Hz	-	XGA VESA (DMT) 60 Hz	48.363	60.004	H-負 V-負
XGA 75Hz	-	XGA VESA (DMT) 75 Hz	60.023	75.029	H-正 V-正
SXGA 60Hz	-	SXGA VESA (DMT) 60 Hz	67.500	60.020	H-正 V-正
Video RGB	NTSC	15k RGB 60 Hz	15.734	59.940	コンポジット シンク
	PAL	15k RGB 50 Hz	15.625	50.000	コンポジット シンク
RGB OUT	-	WXGA 60 Hz	47.693	59.992	H-負 V-正
		WXGA 75 Hz	60.091	74.926	H-負 V-正

\* RGB OUT の設定については AWS-G500E 取扱説明書の「RGB 出力信号フォーマットを設定する」をご覧ください。

\*\* PGM OUT の設定については AWS-G500E 取扱説明書の「映像出力信号フォーマットを設定する」をご覧ください。

REF OUT            BNC × 2  
                       Sync: 0.286 V<sub>p-p</sub> (75 Ω)  
                       (NTSC)  
                       Sync: 0.3 V<sub>p-p</sub> (75 Ω)  
                       (PAL)  
                       C (BURST) : 0.286 V<sub>p-p</sub>  
                       (75 Ω) (NTSC)  
                       C (BURST) : 0.3 V<sub>p-p</sub>  
                       (75 Ω) (PAL)

## レコーダーポート

HDD                i.LINK : IEEE1394 (6 ピン)  
                           × 2  
                           (工場出荷時)    HDD IF : SBP2

## 音声信号

### オーディオ入力

アナログ入力 1-2    XLR/TRS Combo × 2  
                           基準レベル : +4 dBu、  
                           - 20 dBu、 - 44 dBu  
                           Mic. Power : +48 V

アナログ入力 3-6    TRS × 4/ 基準レベル :  
                           +4 dBu、 - 20 dBu、  
                           - 44 dBu

アナログ入力 7-8    Pin × 2/ 基準レベル :  
                           - 10 dBu

DV IN \*            i.LINK : IEEE1394 (6 ピン)  
                           × 4

IEC 61883-2 準拠

オーディオ基準レベル :

- 20 dBFS

サンプリング周波数 : 12 bit

32 kHz 4ch のうち 1,2 ch の  
み採用

16 bit 48 kHz 2ch

\* DV IN/OUT コネクター

### オーディオ出力

PGM OUT            TRS × 2/ 基準レベル :  
                           + 4 dBu/ インピーダンス : 150 Ω

MIX OUT            Pin × 2/ 基準レベル :  
                           - 10 dBu/ インピーダンス :  
                           470 Ω

AUX OUT            TRS × 2/ 基準レベル :  
                           + 4 dBu/ インピーダンス : 150 Ω

MONITOR OUT       TRS × 2/ 基準レベル :  
                           +4 dBu/ インピーダンス : 150 Ω

DV OUT \*            i.LINK : IEEE1394 (6 ピン)  
                           × 4

IEC 61883-2 準拠

オーディオ基準レベル :

- 20 dBFS

サンプリング周波数 :

12 bit 32 kHz 4ch、

16 bit 48 kHz 2ch

\* DV IN/OUT コネクター

HEADPHONES       1/4 インチ ステレオ標準  
                           ジャック × 1  
                           70 mW × 2/ インピーダン  
                           ス : 47 Ω

INTERCOM           D-Sub 9 ピン × 1 (凹) /  
                           Original Parallel I/O

## その他インターフェース

ネットワーク	RJ-45 × 1、10 Base-T/100 Base-TX
USB	USB A × 2、USB 準拠
RGB (GUI)	D-Sub Shrink (15ピン) × 1 (凹)、WXGA 1,280 × 800 60 Hz
REMOTE (将来の拡張機能です)	D-Sub 9ピン (凸) × 1、RS-232C
FACTORY USE	D-Sub 15ピン × 1 (凸) / Original Parallel I/O

「メモリースティック」

「メモリースティック」  
スロット

VISCA  
DIN 8ピン × 1、RS-232C  
Sony VISCA カメラコマンド  
をサポートしています。

LCD  
15.4型 WXGA  
(1,440 × 900 \* 60 Hz)

スピーカー  
内蔵スピーカー × 2、サイズ：  
20 × 40 mm

\* シリアル番号 33001 以降の Anycast Station に搭載された LCD パネルの仕様です。シリアル番号 33001 以前の LCD パネルの仕様は、WXGA 1,280 × 800 60 Hz です。「その他インターフェース」の RGB (GUI) の仕様は、シリアル番号にかかわらず WXGA 1,280 × 800 60 Hz です。

## 付属品

CD-ROM (Manual) (1)	
CD-ROM (Tutorial) (1)	
CD-ROM の使い方 (1)	
ピン ⇄ BNC コネクター (4)	
電源ケーブル (1)	
3極 → 2極変換プラグ (電源) (1)	
取扱説明書 (2) (AWS-G500E、AWS-G500)	
キーボード (1)	85 キー + ポインター / 赤外線通信
	電源 (AWS-G500 から供給) : +5 V
	バッテリー : CR2032 または CR2032H × 2

## 別売りアクセサリ

### BKAW-550 PC ビデオインターフェースモジュール

(本体のスロット 3 に標準装備)

RGB	D-Sub Shrink (15ピン) × 2 (凹) XGA (1,024 × 768 60 Hz、70 Hz、75 Hz) SXGA (1,280 × 1,024 60 Hz、75 Hz) VESA (DMT) 準拠 WXGA (1,280 × 768 60 Hz)
-----	---

PC RGB 入力信号一覧

フォーマット		fh	fv	ドットクロック	同期極性	
		[kHz]	[Hz]	[MHz]	水平	垂直
1,024 × 768	XGA VESA 60 Hz	48.363	60.004	65	負	負
	XGA VESA 70 Hz	56.476	70.069	75	負	負
	XGA VESA 75 Hz	60.023	75.029	78.75	正	正
1,280 × 1,024	SXGA VESA 60 Hz	63.981	60.02	108	正	正
	SXGA VESA 75 Hz	79.976	75.025	135	正	正
1,280 × 768	WXGA * 60 Hz	47.693	59.992	80.125	負	正

\* Macintosh からの入力には対応していません。

### BKAW-560 HD ビデオインターフェースモジュール

YPbPr IN	D-Sub Shrink (15ピン) × 2 (凹) 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期付き PB: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) PR: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω)
YPbPr OUT	D-Sub Shrink (15ピン) × 1 (凹) 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期付き PB: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) PR: 0.7 V <sub>p-p</sub> (75 Ω)

## BKAW-570 SDビデオインターフェースモジュール

(本体のロット1、2に標準装備)

コンポジット	BNC × 2 VIDEO : 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負
S-VIDEO	DIN × 2 Y: 1.0 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) 同期負 C (BURST) : 0.286 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (NTSC) C (BURST) : 0.3 V <sub>p-p</sub> (75 Ω) (PAL)
DV IN/OUT	i.LINK : IEEE1394 (6ピン) × 2 IEC 61883-2 準拠 オーディオ入力: 基準レベル: - 20 dBFS サンプリング周波数: 12 bit 32 kHz 4chのうち 1ch、2chのみ採用 16 bit 48 kHz 2ch オーディオ出力: 基準レベル: - 20 dBFS サンプリング周波数: 12 bit 32 kHz 4ch 16 bit 48 kHz 2ch
HDD	i.LINK : IEEE1394 (6ピン) × 1 HDD IF : SBP2

## BKAW-580/BKAW-581<sup>\*1</sup> シリアルデジタルインターフェースモジュール

SDI IN	BNC × 2 VIDEO : 800 mV <sub>p-p</sub> (75 Ω) SMPTE259M-C ITU-R656 準拠 AUDIO : オーディオサンプリング周波数: 20 bit 48 kHz 2ch (1/2 ch または 3/4 ch) SMPTE272M-A 準拠
SDI OUT	BNC × 1 VIDEO : 800 mV <sub>p-p</sub> (75 Ω) SMPTE259M-C ITU-R656 準拠 AUDIO :

オーディオサンプリング周波数: 20 bit 48 kHz 2ch  
(1/2 ch)  
SMPTE272M-A 準拠  
i.LINK : IEEE1394 S400  
(6ピン) × 1  
HDD IF : SBP2

HDD<sup>\*2</sup>

\*1 ソフトウェアバージョン 2.30以降で対応

\*2 BKAW-580のみ

## BKAW-590 HD シリアルデジタルインターフェースモジュール

HD SDI IN	BNC × 2 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i VIDEO : 800 mV <sub>p-p</sub> (75 Ω) SMPTE292M 準拠 AUDIO : オーディオサンプリング周波数: 20 bit 48 kHz 2ch (1/2 ch または 3/4 ch) SMPTE299M 準拠
HD SDI OUT	BNC × 1 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i VIDEO : 800 mV <sub>p-p</sub> (75 Ω) SMPTE292M 準拠 AUDIO : オーディオサンプリング周波数: 20 bit 48 kHz 2ch (1/2 ch) SMPTE299M 準拠

### 【注意】

AWS-G500 シリーズの映像信号処理では、SDI 信号の入力対出力に対して透過性\*は確保されていません。

\*量子化された数値がまったく同一なこと。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。



この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは  
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ